

(社)北海道臨床工学技士会ニュース

NO. 74

ホームページ <http://hcea.umin.ac.jp>事務局 hacet-office@umin.ac.jp

発行人：真下 泰

〒004-8618

札幌市厚別区厚別中央2条6丁目

札幌社会保険総合病院 ME部

TEL 011-893-3000

FAX 011-893-4001

年 頭 所 感

(社)北海道臨床工学技士会会長 真下泰

新年明けましておめでとうございます。2007年の新春を新たな気持ちで迎え、本年が会員皆様にとっても、当会にとっても良い年になることを願っております。また、日ごろより当会の活動に対しまして格別のご指導、ご支援を賜っております関係各位の皆さまに深く感謝申し上げます。

さて昨年は医療を取り巻く環境が、急激にしかも予想をはるかに超えて大きく変貌していきました。新年を迎えて、われわれ医療人は何をすべきか、ここで今一度一緒に考えてみるよい機会でもあると思います。医療の現場に経済効率と市場の競争原理が導入され、適正な医療さえも保障しない診療報酬の引き下げがあり、国民皆保険制度も脅かされてきております。その中で我々臨床工学技士に課せられた使命のひとつに「医療の安全を確保すること」があることは昨年来より謳わせていただいております。今一度、「医療の安全の確保に自分たちがどの様にかかわっていけるか？また、その方向性を示すことが出来るか？」を考えてください。我々は臨床における医療機器関連の安全性を確保するマンパワーとなり、医療の安全の確保、質の向上につとめ、医療機器の安全管理者としての責任を遂行することにあります。技士会としてもそのための「個々のスキルアップと技術の研鑽」を重点に、教育、研修システムの構築を充実していきたいと思っております。厚生労働省が医療機器産業ビジョンの中で臨

床工学技士の活用について言及してから4年が経過しますが「医療機器安全管理室」の設置などは、現実問題として計画通り進んでいないのが現状です。集中治療室の施設基準に臨床工学技士の常駐や中医協で臨床工学業務を診療報酬に反映させる議論が現実にはありませんが、臨床工学技士の組織として技士会が中心となり訴えていかなければならない課題がまだまだ山積みになっております。そのためにも組織率の向上も重要であります。ぜひとも全ての臨床工学技士が技士会に加入していただくことを願います。

また、新人教育も重要な課題であります。教育現場と臨床現場は違うものということは皆さんも認識されていることと思います。「スキルアップと新人教育」という問題を教育委員会、安全管理委員会を中心に会員の幅広い意見を反映させながら、国や道の政策に整合性をもたせた内容で取り組みたいと思ひ、そこのギャップをどのように埋めていくかも現場・養成校・技士会と一緒に考えていきたいと思ひます。最後に、われわれは自分の職業に誇りを持ち、自分たちがその第一歩を踏み出さなければ一体誰がやってくれるのかという信念をもち、日々の業務に邁進していかなくてはなりません。今後も皆様の一層のご支援、ご協力をお願いし、今年が会員各位にとりまして益々のご健勝の年でありますことを願っております。

第18回人工呼吸セミナーのご案内

下記に示すとおり北海道呼吸管理研究会の人工呼吸セミナーが開催されます。皆様多数の参加をお待ちしております。

なお、このセミナーの受講者は3学会合同呼吸療法認定士の認定単位25点/日が取得できます。

【期日】平成19年2月17日(土)、18日(日)

【会場】札幌医科大学講堂

札幌市中央区南1条西16丁目

【問い合わせ】

申込用紙や案内等は、人工呼吸器セミナー事務局に郵便もしくはFaxでお問い合わせ下さい。

〒060-8543 札幌市中央区南1条西16丁目

札幌医科大学医学部麻酔科 人工呼吸セミナー事務局

FAX 011-631-9683

プログラム

第一日目(2月17日・土曜日)

9:00～9:10	開会挨拶 (代表世話人:並木昭義)	
司会	札幌厚生病院麻酔科 大久保和章	
9:10～9:40	やさしい呼吸生理と呼吸不全の理解	室蘭市立病院麻酔科 五十嵐元彦
9:40～10:10	人工呼吸の適応と換気モード	北見赤十字病院麻酔科 荒川穰二
10:10～10:30	コーヒープレイク	
司会	北海道小児総合保険センター麻酔科 豊島由希	
10:30～11:00	人工呼吸のモニターリング・トラブル対策	旭川医科大学集中治療部 野崎浩司
11:00～11:30	人工呼吸器の保守・点検	旭川医科大学手術部 宗万孝次
11:30～12:40	昼食	
司会	帯広厚生病院救命救急センター 山本修司	
12:40～13:10	人工呼吸管理中の気道管理(鎮静・感染)	富山大学医学部薬理学講座 松田直之
13:10～13:40	人工呼吸からの離脱	手稲溪仁会病院麻酔・集中治療科 横山 健
13:40～14:00	コーヒープレイク	
司会	日鋼記念病院麻酔科 黒田浩光	
14:00～14:30	急性呼吸不全の病態と管理	旭川赤十字病院麻酔科 住田臣造
14:30～15:00	新生児・小児の人工呼吸管理	小児総合保険センター麻酔科 豊島由希
15:00～15:20	コーヒープレイク	
司会	市立札幌病院胸部外科病棟 五十嵐美恵子	
15:20～15:50	人工呼吸管理の看護(成人)	市立札幌病院救命救急センター 三上剛人
15:50～16:10	人工呼吸管理の看護(小児)	北海道小児総合保険センター 稲田早苗
16:30～18:30	第24回北海道呼吸管理研究会 テーマ “重症呼吸不全の診断・治療をどうする?” (パネルディスカッション並びに特別講演を予定しております)	

第二日目(2月18日・日曜日)

司会	札幌医大第3内科 藤井 偉	
9:00～9:30	慢性呼吸不全の病態と管理	南1条病院呼吸器科 田垣 茂
9:30～10:00	在宅人工呼吸管理	国立病院機構八雲病院 石川悠加
10:00～10:20	コーヒープレイク	
司会	国立病院機構八雲病院理学療法科 三浦利彦	
10:20～10:50	呼吸理学療法の理論と実践	札幌医科大学保健医療学部理学療法科 石川 朗
10:50～11:10	急性呼吸不全の呼吸理学療法	市立函館病院理学療法科 山下康次
11:10～13:00	呼吸理学療法実習	石川 朗・山下康次・ほか

第1回 体外循環基礎セミナーのご案内

(社)北海道臨床工学技士会では、生涯教育整備事業の一環といたしまして、「体外循環基礎セミナー」を下記の要領にて開催する運びとなりました。

第一線でご活躍されておられる先生方の貴重なご講演を頂き、体外循環全般の知識を盤石なものとするよい機会と考えております。是非、この機会に臨床工学技士のみならず看護師、医療関係者など、お気軽に皆様方の参加を心よりお待ちしております。

【開催日】平成19年 3月 18日(日) 8:50 ~ 16:10

【会場】札幌コンベンションセンター 小ホール

(札幌市白石区東札幌6条1丁目 TEL.011-817-1010)

【参加費】道臨工会員 ¥1,000 一般(賛助会員含む) ¥3,000 学生 ¥1,000

参加費は当日会場でお支払い下さい。

※ 但し、道臨工会員で本年度の会費未納の方は一般扱いとなりますのでご注意ください。

【申込方法】インターネットで申し込みの方は(社)北海道臨床工学技士会ホームページの申し込みフォームから申し込み下さい。FAXで申込の方は申し込み用紙を事務局へFAX送信をお願いします。

※ 事務局で参加受付完了後、受講票を郵送いたします。

【定員】事前申込み 170名(定員)

【受付期間】平成19年2月7日(水)～平成19年 3月7日(水)まで

定員になり次第締め切らせていただきます。

【対象】臨床工学技士・看護師・各医療関係者

プログラム (予定)

8:50～9:00 開会の辞 (社)北海道臨床工学技士会 会長 真下 泰

9:00～10:00 『人工心肺システム』

司会:特定医療法人社団碩心会 心臓血管センター 大野病院 臨床工学部 技士長 吉岡 政美
講師:自治医科大学附属大宮医療センター 臨床工学部 百瀬 直樹 先生

10:00～11:00 『最近の心筋保護法』

司会:札幌中央病院 臨床工学科 科長 山本浩幸
講師:医療法人溪仁会 手稲溪仁会医療センター 心臓血管外科 副部長 中村 雅則 先生

11:00～12:00 『体外循環中の病態生理』

司会:市立札幌病院 臨床工学科 担当係長 高平 篤法
講師:特定医療法人社団 碩心会 心臓血管センター 大野病院 院長 道井 洋吏 先生

12:00～13:00 ランチョンセミナー 『Resting Heart System』

司会:未定
講師:日本メトロニック 未定

13:00～14:00 『体外循環中のモニタリング』

司会:NTT 東日本札幌病院 臨床工学室 高橋 秀一
講師:慶応義塾大学病院 医用工学センター 又吉 徹 先生

14:00～15:00 『大血管手術の補助手段』

司会:市立旭川病院 臨床器材科 臨床工学室 鷹橋 浩
講師:NTT 東日本札幌病院 心臓血管外科 血管センター長 安田 慶秀 先生

15:00～16:00 『心不全の外科的治療の現況』

司会:医療法人溪仁会 手稲溪仁会医療センター 臨床工学部 部長 古川 博一
講師:北海道大学病院 循環器外科 教授 松居 喜郎 先生

16:00～16:10 閉会の辞 日本体外循環技術医学会 北海道地方会 会長 高平 篤法

第13回第1種ME技術実力検定試験および講習会のお知らせ

第一種 ME 技術実力検定試験が行われます。第8回試験より、実務経験や専門性をさらに重視する観点から科目合格制度を導入するなど、以前より受験しやすくなっておりますので、この機会に是非積極的にチャレンジされてみてはいかがでしょうか。詳細は ME 技術教育委員会のホームページをご覧ください(<http://megijutu.jp/>)。

■講習会実施要領■

- 東京会場:平成19年4月15日(日) 9:00~18:00 定員 200 名
日本工学院専門学校(大田区西蒲田 5-23-22) (予定)
- 大阪会場:平成19年4月22日(日) 9:00~18:00 定員 150 名
大阪医専(大阪市北区大淀中 1-10-3) (予定)
- 受講料:15,000円(テキスト1冊, 問題解説集3冊の計4冊分含む)
- 対象者:第1種ME技術実力検定試験を受験したい方はどなたでも受講できます。
とくに次の方々にお薦めします。

- 1) 病院など医療機関でME機器の使用や保守・安全管理を担当されている方
- 2) 会社等でME機器の研究・開発、生産、販売、保守を担当されている方
- 3) 学生などでME機器の保守・安全について関心をお持ちの方

- 申込〆切:平成19年3月6日(火) <ただし、定員に達し次第締め切らせていただきます。>

■検定試験実施要領■

- 期 日:平成19年6月10日(日) 9:00~17:00
 - 試験会場:《東京会場》東京電機大学神田キャンパス(千代田区神田錦町 2-2) (予定)
《大阪会場》大阪医専(大阪市北区大淀中 1-10-3) (予定)
《福岡会場》香蘭ファッションデザイン専門学校(福岡市中央区大手門 2-10-5) (予定)
 - 受験料:(初回受験者)20,000円 (科目合格者および再受験者)12,000円
 - 受験資格:次のいずれかを満たしていること。(実務経験に関わらず受験できます。)
- a. 第2種ME技術実力検定試験合格者
 - b. 臨床工学技士免許所有者
- 試験方法:筆記試験で、ME基礎論(午前)、ME機器論(午後)の2つの科目で行われます。ME機器論には専門知識を問う選択問題と小論文が含まれます。

■資料請求■

詳しい資料(申込書等を含む)は各々下記の要領にてご請求ください。

- 講習会資料 : 平成19年2月1日より受付
- 検定試験資料: 平成19年4月1日より受付
- 請求方法 : 返信封筒(長形3号の封筒に90円切手を貼り、郵便番号、住所、氏名を明記したもの)を同封の上、下記事務局宛にご請求ください。
必ず「第1種ME講習会資料希望」または「第1種ME試験資料希望」のいずれかを明記してください。

- 問い合わせ先 : 〒113-0033 東京都文京区本郷 2-39-5 片岡ビル 3F

ME技術教育委員会内

ME技術実力検定試験事務局

TEL/FAX:03-3813-5521

e-mail:jimu@megijutu.jp

◎平成16年度より、第1種ME技術実力検定試験の合格認定証を取得された方は、「第1種ME技術者」という呼称を使用できるようになりました。(初回認定者にさかのぼって適用されます)

◎第1種ME技術実力検定試験の合格認定証を取得した方のうち、臨床工学技士などの医療国家資格を有している方は、申請により、「臨床ME専門認定士」の認定が受けられます。

第12回 3学会合同 呼吸療法認定士認定講習会及び認定試験のお知らせ

3学会(日本胸部外科学会、日本呼吸器学会、日本麻酔科学会)合同呼吸療法認定士の認定講習会及び認定試験が下記のとおり実施されます。こちらも是非チャレンジされてみてはいかがでしょうか? 詳細は財団法人医療機器センターのホームページ(<http://www.jaame.or.jp/koushuu/kokyu/kokyu.html>)をご覧ください。

■日程・会場

【認定講習会】

講義内容は全日程同じです。

受講希望班は申請書類提出時に選択していただくことになります。

日程	平成 19(2007)年	定員	会場
A班	8月21日(火)～8月22日(水)	700名	東京ビッグサイト
B班	8月23日(木)～8月24日(金)	700名	東京都江東区有明3
C班	8月25日(土)～8月26日(日)	1,250名	東京ビッグサイト/TFTホール
D班	8月27日(月)～8月28日(火)	1,250名	東京都江東区有明3-1

注)各会場が定員に達した場合は、受付期間内でも申込み受付を終了いたします。なお、C班またはD班をご希望の場合、会場の選択は出来ませんのであらかじめご承知おき下さい。

【認定試験】(日程、会場は6月上旬頃に決定する予定です)

日程 平成19(2007)年11月中旬～下旬の日曜日

会場 東京都内

■受講・受験対象者

【認定講習会受講資格】

次のいずれかの資格を有し、申請書提出日現在において各資格に該当する実務経験年数を満たしている者であること。

- | | | | |
|-----------|--------|----------|--------|
| a) 臨床工学技士 | 経験2年以上 | b) 看護師 | 経験2年以上 |
| c) 准看護師 | 経験3年以上 | d) 理学療法士 | 経験2年以上 |

【認定試験受験資格】

認定講習会を受講した者であること。

今回は次のいずれかに該当している者であることが条件です。

- 第12回認定講習会を受講した者
- 受講免除者:第10回(平成17(2005)年度)及び第11回(平成18(2006)年度)の認定講習会を受講済みの者

※受講した年度を含めて3年間は認定試験の受験資格が与えられます。希望により2年目、3年目は受講免除者として受験のみの申込みをすることができます。なお、受講免除者として申請する場合は、申請書類のうち、臨床経験を証明する「実務経験証明書」の提出は不要となります。但し、受講免除対象者であることを証明する書類として、受講票、受験票、試験結果通知書のいずれか(コピー可)を提出していただきます。

■受講・受験料・認定登録手数料

- 認定講習会受講料 20,000円(テキスト代含)
- 認定試験受験料 10,000円
- 認定登録手数料 3,000円(認定試験合格の後、認定証の交付を受ける者)

※受講料等の納入時期については審査結果の通知以降、順次お知らせします。

■受講・受験申込み方法等について

【講習会受講希望者:実施要領(申請書類)の請求および申込み方法)定員3,900名】

実施要領(申請書類)配布期間 2007年3月1日(木)～3月23日(金)

受付期間 2007年4月9日(月)～4月27日(金)

【受講免除 定員なし】

実施要領(申請書類)配布期間 2007年5月1日(火)～6月15日(金)

申請書類の受付期間 配布開始日～6月29日(金)

■請求及び申込み問い合わせ先

〒113-0033 東京都文京区本郷3-42-6

NKDビル7F 財団法人 医療機器センター内 3学会合同呼吸療法認定士認定委員会事務局

実施要領(申請書類)は全て配布期間内にホームページからダウンロード(PDF形式)して入手できます。

第6回 医療機器安全対策研究会開催のお知らせ

本学会では、医療の安全向上のために医療機器安全対策研究会を継続して開催しております。医療機器安全使用に必要な標準化・データベース・第三者評価をテーマに下記のとおり開催いたします。特に参加資格は問いません。医療の安全及び医療機器に関心のある多くの方々の参加を期待しております。参加申込などはこちらの web ページ http://www.soc.nii.ac.jp/jsmi/JSMI_ME_Safety_No6.pdf をご覧下さい。

【日時】平成19年3月17日(土) 10:00～17:00

【会場】ミッドランドホール(名古屋ミッドランドスクエア 5F)

<http://www.midland-square.jp/index.html>

【対象】医療機関(医師、臨床工学技士、臨床放射線技師、看護師、滅菌技士(士)など)、医療機器関連企業、その他(本学会会員以外の参加も歓迎致します)

【参加費】1,000円(資料代を含む。なお、事前申込の方にはランチョンのお弁当がつきます)

プログラム(敬称略・演題名など一部変更になる場合があります)

10:00～10:05 開会のご挨拶 委員会委員長 大阪大学医学部付属病院手術部部長 中田 精三

10:05～10:50 基調講演

「医療機器安全を支える臨床工学技士の役割と将来展望

～生命維持管理装置の運用から医療機器の総合安全管理へ～

講師:(財)医療機器センター理事長 渡辺 敏

司会:帝京大学医学部麻酔科 教授 大村 昭人

10:50～11:40 教育講演1

「医療安全・病院経営に役立つ医療機器管理データベースの活用事例」

講師:亀田総合病院 ME 室 森 信洋

司会:大阪大学医学部付属病院手術部 部長 中田 精三

◇ ◇ ◇ ◇ 休憩・機器展示企業プレゼン(20分) ◇ ◇ ◇ ◇

12:00～12:50 ランチョンセミナー

「医療機器保守管理支援ソフトの活かし方」

講師:フクダ電子株式会社 清水 啓孝

司会:愛知県臨床工学技士会会長、名古屋掖済会病院臨床工学部 渡邊 晴美

◇ ◇ ◇ ◇ 休憩・機器展示見学(10分) ◇ ◇ ◇ ◇

13:00～13:50 教育講演2

「医療機器管理システムの独自開発を経験して分かったバーコード表示の必要性」

講師:徳島赤十字病院医療機器管理係 都川 美喜雄

司会:日本手術看護学会東海地区会長、名古屋市立大学病院看護師長 平松 伴乃

13:50～14:40 教育講演3

「医療機器本体標準バーコード・鋼製小物2次元シンボル表示の必要性とその意義」

講師:名城大学大学院都市情報学研究科保健医療情報学教授 酒井 順哉

司会:名古屋大学医学部付属病院手術部副部長 滝 和美

◇ ◇ ◇ ◇ 休憩・機器展示企業プレゼン(20分) ◇ ◇ ◇ ◇

15:00～16:50 シンポジウム

「医療機器安全使用に必要な臨床工学技士・標準化・第三者評価」

座長:名城大学大学院都市情報学研究科保健医療情報学 教授 酒井 順哉

1) 医療機器安全管理に必要な臨床工学技士の定員算定基準

北里大学医療衛生学部医療工学科 助教授 廣瀬 稔

2) 医療機器ガイドライン策定の狙いと今後のアクションプラン

日本医療機器産業連合会 IT 推進委員会 委員長 原山 秀一

3) 医療機器添付文書電子化の有用性と現状課題

独立行政法人医薬品医療機器総合機構安全部医療機器安全課 石井 健介

4) 医療機器耐用年数は機器更新にどのような影響を与えるか

帝京大学医学部麻酔科 教授 大村 昭人

5) 病院機能評価で医療機器の保守管理をどのように審査しているか

木沢記念病院総合企画部長・日本医療機能評価機構・特別審査員 左合 茂樹

16:50 閉会のご挨拶

研究会世話人:名城大学大学院都市情報学研究科保健医療情報学 教授 酒井 順哉

技士会会員各位

預金口座自動振替依頼書の記入見本と返信期限について

先に、預金口座自動振替依頼書を会員みなさまに郵送させていただいておりますが、「口座自動振替制度の申し込みへのお願い」の内容をご理解いただき、多くの方々に制度への申請をいただきたいとあらためてお願い申し上げます。

なお、用紙への記入については、記入見本を掲載させていただきましたので、ご利用下さい。返信の期限につきましては、2月末日とさせていただきますと存じます。

ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

社) 北海道臨床工学技士会
財務委員会 山本

記入見本

引渡し金融機関用 預金口座振替依頼書 自動払込利用申込書 年 月 日

取扱金融機関 御中

※は、下記の引渡先住所から送られた書類を転写した上で、預金口座から振替依頼書に必要事項を記入し、お送りください。

記入見本

株式会社 札幌コンピュータサービス 金融機関指定の場合

金融機関または郵便局のうちどちらか一つをご指定下さい。

金融機関コード	支店コード	070	郵便局
指定	166	30	株式会社 札幌コンピュータサービス
口座	1020345	1	0

株式会社 札幌建設
代表取締役 札幌 大地

必ず通帳等とご照合の上記入し、お届け印を鮮明に押印して下さい。
なお、お届け印が見づらい場合は、左横の余白に再度 押印して下さい。
記入個所に訂正があった場合は、必ず お届け印で 訂正して下さい。

金融機関指定の場合

金融機関指定の場合

引渡し金融機関用 預金口座振替依頼書 自動払込利用申込書 年 月 日

取扱金融機関 御中

※は、下記の引渡先住所から送られた書類を転写した上で、預金口座から振替依頼書に必要事項を記入し、お送りください。

記入見本

株式会社 札幌コンピュータサービス 郵便局指定の場合

金融機関または郵便局のうちどちらか一つをご指定下さい。

金融機関コード	支店コード	郵便局
指定	166	30
口座	19010	12345061

ヤマモト タロウ

山本 太郎

必ず通帳等とご照合の上記入し、お届け印を鮮明に押印して下さい。
なお、お届け印が見づらい場合は、左横の余白に再度 押印して下さい。
記入個所に訂正があった場合は、必ず お届け印で 訂正して下さい。

郵便局指定の場合

郵便局指定の場合

頑張れ！フレッシューズ

三年目 CE の【日々迷走】～ (12)

3 年目 A

ウィンタースポーツの季節がやってきた。

わざわざ寒い時期に寒いフィールドで活動したくない、と冬は屋内に引っ込んでしまう人も多いようだが、冬ならではのスポーツもさりげなくたしなむのが清く正しい道産子の姿ではなかろうか。

ウィンタースポーツというとスキー、スノーボード、スケート、ホッケーなどがあげられる。北海道では小中学生の体育の時間に、これらのいずれかを(強制的に)体験するケースが多いので「どれもやったことはありません」という人はあまりいない。しかし子どもの頃はともかく大人になってから新たにこれらのスポーツを始めようとする人は少ない気がする。スノーボードは若者に人気があるが、ウィンタースポーツの総人口自体は年々減っているそうである。道産子としては寂しいことだ。

そんな中で昨年、倶知安町の地価上昇率が全国一になったというニュースが流れた。パウダースノー目当てのオーストラリア人が、不動産を大量に購入したことが原因らしい。北半球の冬は南半球の夏ということで、スキー・ボード好きのオージーはニセコ周辺に長期滞在するそうである。

試しにニセコ・グランヒラフに行ってみたところ、中腹から上は日本人よりオージーのほうが多いくらいだった。滑る人数が多すぎて、パウダーはあっという間に削られてしまうほど(今シーズンはまだ雪が少ないせいもあるが)。しかし吹雪かれて、日本人が次々に建物内に避難する中、帽子もネックゲーターもつけずにヒゲを凍らせて滑り

続ける姿はさすがだった。日本人と体質が違うのだろうか。

私は、今シーズンはバックカントリー(スキー場以外で滑ること)を真面目にやりたいと企んでいて、本番の山の前に出来ればスキー場のパウダーエリアで楽に練習したかったのだが当てが外れてしまった。何しろ山の場合、パウダーが深すぎると一度転ぶと自力では立てなくなったりする(体を起こそうと手を突くとぬかり、もがいているうちにどんどん埋まっていく…)し、何よりもリフトが無いのが辛い。基本的に登りは自力で歩くわけだ。その代わり雪質はスキー場とは比べ物にならないので、スキー場で物足りなくなったスキーヤー、ボーダーの方はバックカントリーにも是非目を向けていただきたい。

雪かきと運転が大変なので平地にはあまり降ってほしくないが、スキー場や山にはたとえ積もってほしい、というのが冬のアウトドア人の本音である。

※お知らせ

これまで“頑張れ！フレッシューズ”というタイトルで A さんに原稿をお願いしてきましたが、4月からは4年目ともなりまた業務も多忙になってきたということで、このコーナーは誠に勝手ながら今回で最終回とさせていただきます。

しかしこのコーナーの愛読者が非常に多いこともあり、なんとかお願いした結果、回数は減るかもしれませんが来年度からは“コーヒープレイク”というタイトルに変更し、原稿を続けてくれることとなりました。日常業務から離れた内容へとやや趣向を変え、ちょっと休憩時にでも気楽に読めるようなコーナーにしようと考えております。皆様のご理解の上、是非ともこの新コーナーを宜しくお願いいたします。

北海道臨床工学技士会ニュース

広報担当	仁友会 北彩都病院	臨床工学科	石川幸広
	旭川赤十字病院	臨床工学課	脇田邦彦
編集委員	旭川医科大学附属病院	臨床工学室	宗万孝次
	旭川赤十字病院	臨床工学課	奥山幸典
	市立旭川病院	臨床工学室	窪田将司

印刷

岡本印刷株式会社
 札幌市北区新川西 2 条 1 丁目
 3 番 2 1 号
 0 1 1 - 7 6 6 - 2 5 5 1